

# 新庄市議会 行政視察報告書

会派又は議員 市民公明クラブ

報告者 山科 正仁

## 【全体的事項】

1. 視察日程 平成 29 年 10 月 28 日(土)～ 30 日(月)
2. 調査事項 (視察先)
  - (1) 新庄まつり I N 巢鴨イベントにおける現状および効果検証  
(東京都豊島区巢鴨地内)
  - (2) 企業の障がい者雇用への農業参画取り組み  
(千葉県市原市地内 わーくはびねす農園 市原ファーム)
3. 視察参加議員  
・小野 周一 ・佐藤 卓也 ・高橋 富美子 ・山科 正仁

## 【具体的事項】

### 調査事項 (1)

新庄まつり I N 巢鴨イベントにおける現状および効果検証  
(東京都豊島区巢鴨地内・大正大学構内)

#### (視察事項)

- 新庄祭り山車巡行時における区民の参集状況および反応確認 (人数、年齢層、感想聞き取り等)

■視察日時 平成 29 年 10 月 28 日(土)  
午前・午後 14時 30分 ～ 20時 25分

#### ■所 感

○あいにくの雨天でのイベントとなったが、大正大学のスタッフ、新庄市役所職員、山車・囃子連盟の方々や他スタッフの努力により地区の方々にはおおむね好評であった印象を受けた。商店街内の巡行見学者は300名程度であり、年齢層は30から70歳代であろうと思われた。数人に印象をお聞きしたところ「時間的にもっと早めの開始がよかった」「地元の行事と連動した日時を選定が望ましかった」等の意見を頂いた。確かに地元行事とのコラボによる効果は絶大であろうと感じた。

また、商店街側の期待(メリット)としては売上の向上があり、巡行中の飲食や

買い物は規制の緩和も考えなければならない課題としてとらえた。



- 視察日時 平成 29 年 10 月 29 日 ( 日 )  
☑午前・午後 10時 30 分 ~ 12 時 00 分  
山車の商店街巡行中止により、急遽「大正大学学生による実習活動発表会」が校内 礼拝堂にて行われ、成果の拝聴をした。

■所 感

○この実習のカリキュラムは、1年時に各班で選択した地方で40日間滞在をし、その地方ならではの課題を発見し、2年時に課題解消の方策を探求する。そして3年時に再度その地方に赴き、方策を実行して地方の課題解決に寄与することであり、そこには地元の方々とは違った目線での見方ができるすばらしいシステムであると感じた。実際、最上町を実習地として選択した学生達もおり、3年時のフィードバックによる町の改善が楽しみである。

その後におこなわれた構内限定巡行も豪雨をものともせずにごんばってくれた姿に頭がさがる思いであった。

今回のイベントが新庄市のよきPRへ、そして「行ってみたい新庄市、感じてみたい新庄祭り」へとつながることを願い所感とする。



## 調査事項（２）

障害者雇用主体の農園運営

（東京都千代田区 株エスプールプラス 千葉県市原市 わーくはびねす農園）

### （視察事項）

- ・運営母体（企業）と現場のシステム
- ・特記すべき運営方法
- ・当市での運営の可否と将来性考察

■視察日時 平成 29 年 10 月 30 日（月）  
☑午前・午後 10 時 30 分 ～ 12 時 30 分

### ■所 感

○大変に興味深い運営システムであり、概要としては、障がい者雇用促進法にて企業側（平成30年4月1日から改正 従業員数45.5人以上）に義務付けられる障がい者雇用義務と法定雇用率（平成30年4月1日から改正 2.2%）をクリアさせるために当該法人が企業と障がい者との橋渡しをおこない、貸し農園運営をベースにした雇用を確立させている事業である。

これは、障がい者の雇用機会創出支援と企業側の問題解決を一挙に解決する事業としては非常に有効であると考えるが、当市での取り組みとした場合で懸念となることは、第一に適用となる企業の少なさと地元の既存事業所（A・B型）との共存の難しさであろう。障がい者の絶対数の確認と、よりよい雇用条件を提案できる企業との連結を行政としてどのように介入できるか、また、しなければいけないかを考えなければならないであろうと感じた視察であった。



